墨田区内循環バスで巡る

すみだ バス巡り さんぽ

BUS MAP

すみりんちゃん　すみまるくん

1 【北西部ルート】

すみだが誇る世界の絵師 葛飾北斎が描いた景勝地めぐり

世界的に知られた絵師・葛飾北斎は、宝暦10（1760）年9月23日に現在の墨田区で生まれ、生涯の大半を区内で過ごし、数多くの傑作を残しました。その中には「すみだ」を題材にした秀逸な浮世絵や肉筆画が少なくありません。北斎作品を観賞しながらその写生地を訪ね、彼の生きた化政時代の文化へ思いを馳せてみませんか。

2 【北東部ルート】

江戸っ子自慢の行楽地 風情漂うすみだ情景さんぽ

庶民の町として発展してきた「すみだ」。江戸の人々の娯楽といえば、神社仏閣めぐり。信仰することが娯楽の一つでもありました。水路の発達したこの地区は四季の花鳥風月を楽しめるとあって、多くの行楽客で賑わっていました。ちょっとした遠出でお洒落に磨きをかけ、粋でいなせな江戸っ子の気質が育まれました。その足跡を訪ねましょう。

3 【南部ルート】

鬼平の活劇を思い描き 高札をたよりにゆかりの地を訪ねる

池波正太郎の人気時代小説の主人公で、寛政年間（1789～1800）に火付盗賊改方長官として活躍した長谷川平蔵は実在の人物でもあります。本所地域は事件現場に数多く登場し、その地に「鬼の平蔵」といわれた容赦のない捕縛劇が高札となって物語られ、鬼平ファンにはたまらぬ道標となっております。

7時台～19時台の間、各ルートとも概ね15分間隔にて運行しています。

運賃	大人100円（中学生以上） 小児50円（小学生）

・未就学児、乳児、障害者の方は無料
・IC カード（PASMO・Suica 等）もご利用可能です
・シルバーパスはご利用できません

1日乗車券	300円　3ルート乗り放題

1日乗車券はバス車内で購入できるほか、産業観光プラザ すみだ まち処、吾妻橋観光案内所、両国観光案内所等でも販売しています。
バスの運行に関するお問い合わせ先：京成バス（株）奥戸営業所 TEL 03-3691-0935

発行 2017年6月　墨田区／一般社団法人墨田区観光協会

墨田区内循環バスで巡る

【北東部ルート】

江戸っ子自慢の行楽地 風情漂うすみだ情景さんぽ

すみだバス巡りさんぽ

2 BUS MAP

香取神社(香梅園)

木下川梅園の跡
尾形月耕『婦人風俗尽 木下川梅園』

三輪里稲荷神社

白髭神社

区内循環バス

吾嬬神社

旧中川の桜

すみだ まち歩き 博覧会
SUMIDA MACHIARUKI FES

墨田区内循環バスで巡る

すみだバス巡りさんぽ

2 【北東部ルート】

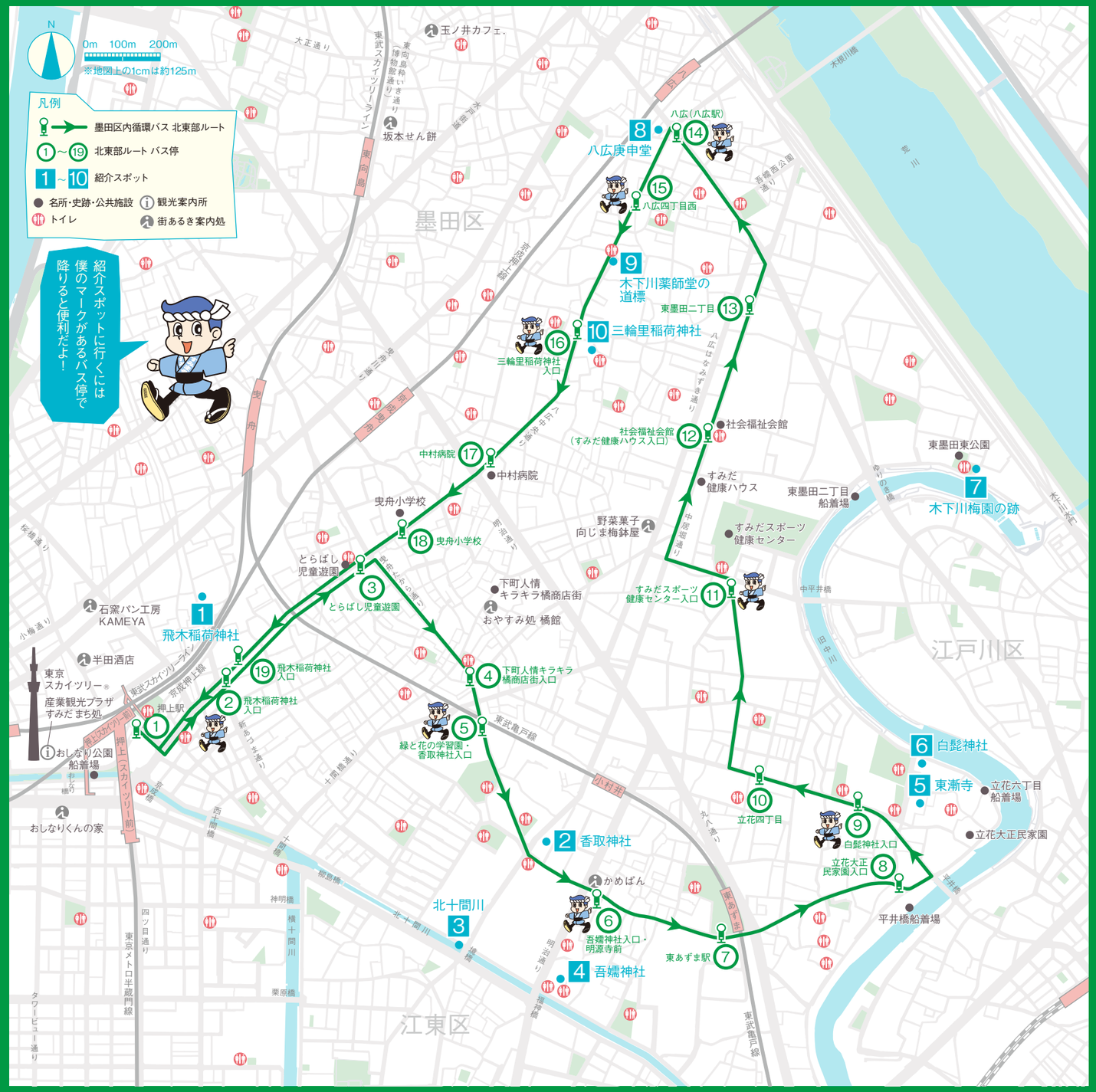
江戸っ子自慢の行楽地 風情漂う すみだ情景さんぽ

庶民の町として発展してきた「すみだ」。江戸の人々の娯楽といえば、神社仏閣めぐり。信仰することが娯楽の一つでもありました。水路の発達したこの地区は四季の花鳥風月を楽しめるとあって、多くの行楽客で賑わっていました。ちょっとした遠出でお洒落に磨きをかけ、粋でいなせな江戸っ子の気質が育まれました。その足跡を訪ねましょう。

ROUTE（1周 約44分）

1. 押上駅
2. 飛木稲荷神社入口
3. とらばし児童遊園
4. 下町人情キラキラ橋商店街入口
5. 緑と花の学習園・香取神社入口
6. 吾嬬神社入口・明源寺前
7. 東あずま駅
8. 立花大正民家園入口
9. 白髭神社入口
10. 立花四丁目
11. すみだスポーツ健康センター入口
12. 社会福祉会館（すみだ健康ハウス入口）
13. 東墨田二丁目
14. 八広（八広駅）
15. 八広四丁目西
16. 三輪里稲荷神社入口
17. 中村病院
18. 曳舟小学校
19. 飛木稲荷神社入口
1. 押上駅

片方向循環ルート



10 三輪里稲荷神社 八広3-6-13

大日坊が大畑村に羽黒大神の分霊を祀ったことが始まり。喉や声の病にご利益がある「こんにゃくの御符」を初午の日に渡していることから、「こんにゃく稲荷」とも呼ばれています。
【バス停⑯から徒歩約3分】

9 木下川薬師道の道標 八広4-12-3

高さ約1メートルの道標。正面に「右や久しみち」、右手に「左ゑどみち」、左手に「大畠村講中」と刻まれています。八代将軍吉宗が、木下川薬師に参詣するにあたり、大畑村の人々に建てさせたといわれています。
【バス停⑮から徒歩約2分】

8 八広庚申堂 八広5-32-7

京成電鉄線路の近くにある小堂。南葛八十八ヵ所霊場の54番札所である大師堂が祀られています。庚申信仰を伝える資料として区の文化財にも登録されています。
【バス停⑭から徒歩約1分】

7 木下川梅園の跡 東墨田3-19-2（東墨田東公園内）

旧中川が荒川に注ぎ込む付近にあった墨東最大の梅園。勝海舟の別荘だった時代もありましたが、明治43（1910）年の大洪水で荒廃、荒川放水路の開削などでほとんどが失われ、現在は東墨田東公園に史跡説明板が建てられています。【バス停⑪から徒歩約16分】

尾形月耕『婦人風俗尽 木下川梅園』

6 白髭神社 立花6-19-17

旧葛西川村の鎮守として、天和2（1682）年に創建と言われていますが、文安元（1444）年という説も。「葛西川の白髭神社」とも呼ばれました。
【バス停⑨から徒歩約7分】

※東墨田にも同名の「白髭神社」があり、向島にはひげの字が異なる「白鬚神社」があります。

1 飛木稲荷神社 押上2-39-6

応仁2（1468）年の創建とされ、暴風雨の際に飛んできたイチョウの枝がこの地で根付き大きく育ったことを吉兆として稲荷神社を祀ったのが始まりといわれています。その名の由来ともなった大きなイチョウの木は、区の天然記念物に指定されています。【バス停②から徒歩約5分】

2 香取神社 文花2-5-8

永万元（1165）年、かつて小村江と呼ばれた土地に、千葉県にある香取神宮の分社として創建。併設の香梅園は、近くの小村井梅園を復活させたものです。
【バス停⑤から徒歩約7分】

3 北十間川

江戸時代（万治年間）に開削された川。川幅が十間あり、本所の北を流れるので北十間川と呼ばれています。香取神社から吾嬬神社へは、是非この川沿いを歩いて東京スカイツリーの眺望をお楽しみください！
【バス停⑥から徒歩約11分】

4 吾嬬神社 立花1-1-15

この地は江戸時代「吾嬬の森」と呼ばれ、中にある祠は「吾嬬の社」と呼ばれていました。境内にあるこの神社の縁起の碑には、祭神である日本武尊命（やまとたけるのみこと）とその妻・弟橘媛命（おとたちばなひめのみこと）に関する事跡などが述べられています。【バス停⑥から徒歩約7分】

5 東漸寺 立花6-17-4

文安元（1444）年創建。葛西三十三観音のひとつに数えられた十一面観世音菩薩像があります。境内には江戸時代の医師・板坂如春の墓碑など区登録文化財がいくつも！
【バス停⑨から徒歩約5分】

COLUMN

すみだには江戸文化の香りがそこかしこに

庶民文化の発祥の地ともいえる「すみだ」。信仰が人々の娯楽の一つでもあった時代、自然、神社仏閣巡りは盛んでした。生活にゆとりの出て来た江戸中期には、春を待ち焦がれる人々の間で梅見が大人気となりました。区内には今もなお梅の名所がいくつも残っています。梅の後は桜。八代将軍吉宗が整備した墨堤の桜はあまりにも有名。初夏の川開きに花火、秋は大奥も楽しんだ秋葉神社の紅葉…。四季折々の風情を楽しむには事欠かない土地。循環バスを上手に使って、これらのスポットを巡り、今もなお脈々と続く江戸文化の香りを楽しんでは。

昇斎一景『東京名所四十八景 小室井乃梅園』